



「自主・実践・友愛」

令和7年9月30日

学校評価特集号

野々中 だより



学校評価について

1学期に行いました学校評価へのご回答ありがとうございました。集計結果と成果と課題、今後に向けての取組、学校関係者評価委員会からのご意見を掲載させていただきます。

今後とも、本校の教育活動へのご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和7年度 野々市中学校 学校評価アンケート結果【前期】（TSP比較）

%＝よくあてはまる＋あてはまる（または選択肢1＋2）

T＝教職員 S＝生徒 P＝保護者 90%以上A 80%以上B 70%以上C 70%未満D

				前期	前期判定	R 6 年間	R 5 年間	R 4 年間
満足	S	1	学校が楽しい。	87%	B	83%	85%	85%
	P	1	お子さんは、安心して学校生活を送っている。	94%	A	92%	90%	84%
発信・参加	S	21	学校からのお知らせや各種たよりを確実に保護者に渡している。	73%	C	71%	78%	77%
	P	8	各種たより、ホームページ、PTA行事などから学校の様子がわかる。	89%	B	94%	81%	81%
	P	10	家庭で学校の様子やできごとについて聞いたり、話したりする。	86%	B	86%	80%	83%
授業規律	T	9	チャイムスタート、あいさつ等、授業のルールや「聴く」「姿勢」を定着させている。	95%	A	94%	92%	90%
	S	4	チャイムスタート、あいさつ等、授業のルールを守って、授業に参加している。	90%	A	90%	90%	91%
	P	4	お子さんは、授業のルールを守って授業に参加している。	94%	A	92%	88%	90%
授業づくり	T	6	授業では、基礎基本の定着を意識した活動を取り入れている。	100%	A	97%		
	T	7	授業では、生徒が見通しをもって学習を進めることができるよう、單元ゴールや1時間の流れを提示し、生徒と共有している。	89%	B	88%		
	T	10	1時間の中で生徒を認めたり互いに認め合ったりする場面を設定している。 昨年度：授業では認めることや認め合う活動を取り入れ、全員が認められるよう努力している。	100%	A	91%		
	S	6	道徳の授業で自分の考えを持ち、他の生徒の意見を聞いて考えが深まったことがあった。	86%	B	86%	86%	86%
	P	3	お子さんは、「授業がわかりやすい」と思っている。	89%	D	88%	64%	68%
家庭学習	S	8	計画を立てて家庭学習に取り組んでいる。	56%	D	51%	51%	53%
	S	9	平日1日あたり、家庭学習をどれくらいしていますか。（塾も含む） 1＝2時間以上 2＝1時間～2時間未満 3＝30分～1時間未満 4＝30分未満	52%	D	56%	53%	54%
	P	5	お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	66%	D	57%	55%	59%
自治・育成	T	12	生徒が有用感・達成感を得られるように、行事などの指導を工夫している。	98%	A	100%	90%	93%
	T	13	クラスや学年・委員会で、生徒が自分たちの考えや意見を話し合う場面を設定した。	95%	A			
	T	14	クラスや学年・委員会で、生徒が話し合って企画を創出・運営する支援をした。	90%	A			
	T	15	クラスや学年・委員会で、生徒が話し合って決めたものがうまくいくように、継続的な支援を行った。	89%	B			
	S	2	将来の夢や目標を持っている。	62%	D	65%	61%	64%
	S	3	自分にはよいところがある。	74%	C	71%	69%	70%
	S	13	生徒会活動（委員会や学級会）に関心を持ち、進んで参加している。	52%	D	63%	68%	72%
	S	15	イベントや行事を通して、自分自身が成長したり、集団の仲が深まったりしたと感じる。※新規項目	88%	B			
	S	16	クラスで話し合う時間を通して、自分たちでクラスを良くしていこうという気持ちをもてた。※新規項目	85%	B			
	P	2	お子さんは、生活や学習に目標を持って生活をしている。	79%	C	78%	73%	74%

生活規律	T	17	生徒は、ルールや決まりを守って学校生活を送っている。	69%	D	72%	67%	75%
	S	12	学校のルールや社会のマナーを意識して、過ごしている。	93%	A	91%	92%	94%
	P	6	お子さんは、交通ルールやマナーを守って登下校時の安全に心がけている。	97%	A	97%	96%	98%
さあい	T	16	生徒は、自分からあいさつや会釈ができる。	50%	D	50%	44%	34%
	S	11	自分からあいさつをしている。	81%	B	73%	79%	81%
	P	7	お子さんは、自分からあいさつを心がけて行っている。	71%	C	78%	76%	77%
対応・相談	T	19	不登校の生徒に対する指導が組織的・効果的に行われている。	90%	A	83%	85%	85%
	T	20	生徒理解に努め、生徒や保護者に寄り添った声かけや対応を行っている。	100%	A	100%	98%	100%
	S	14	学校には、悩みを相談する先生や大人がいる。	70%	C	65%	62%	61%
	P	9	学校は、保護者からの連絡や相談に誠実に対応している。	93%	A	95%	93%	95%
自問・部活	T	18	自問清掃は、生徒の自主性・自発性の育成につながっている。	54%	D	42%	24%	52%
	S	20	授業以外の活動に主体的に取り組んでいる。 (部活動、クラブチームの活動、家庭学習、お手伝い等) 昨年度まで：部活動（ｽﾎｰﾂｸﾗﾌﾞ等）の習い事を含む）に積極的に取り組んでいる。	92%	A	88%	91%	87%
カリキュラムマネジメント	T	21	カリキュラム・マネジメントを意識し、自問清掃や学校生活でがまん玉を磨けるよう指導している。	90%	A	78%		
	S	17	自問清掃や学校生活でがまん玉をみがいている。	80%	B	80%		
	T	22	カリキュラム・マネジメントを意識し、自問清掃や学校生活でみつけ玉を磨けるよう指導している	93%	A	78%		
	S	18	自問清掃や学校生活でみつけ玉をみがいている。	82%	B	82%		
	T	23	カリキュラム・マネジメントを意識し、自問清掃や学校生活で親切玉を磨けるよう指導している。	93%	A	75%		
	S	19	自問清掃や学校生活で親切玉をみがいている。	82%	B	83%		

【○成果と▲課題】（抜粋）

- 学校が楽しい、安心して学校生活を送れると回答した生徒、保護者は微増ではあるが増加傾向にある。
- ▲全くあてはまらないと回答した生徒、保護者が0でないことに課題がある。
- totoru の活用が進み、紙でのお便りをかなり削減したが、学校での様子は伝わっている。
- ▲生徒が配布物を家庭でしっかりと見せる習慣がついていないことが課題である。
- 授業規律に関しては教職員の指導と生徒の頑張りが見られる。
- ▲授業づくりに関しては、さらにわかりやすい授業を目指して研修していくことが課題である。
- 家庭学習の取組に関しては生徒、保護者共に向上が見られた。
- 生徒たちが主体的に自分たちの取組について話し合う時間を設定することで、生徒たちの主体性、自己有用感の向上が見られた。
- ▲生徒たちの挨拶への意識は向上しているが、保護者、教職員との意識の違いが課題である。
- 生徒たちにとって悩みを相談しやすい雰囲気徐徐にはあるが向上してきている。
- 自問活動（カリキュラムマネジメント）に対して、生徒の意識の向上が見られる。

【後期に向けて】（抜粋）

- 生徒がこれまで以上に悩みを相談しやすい環境となるよう、アンケートや面談だけでなく、日頃から教職員に相談しやすい雰囲気を学校全体として作りあげていく。
- 生徒たちからの授業アンケートをよく分析し、授業改善を図っていく。
- 家庭学習がさらに充実したものになるように、授業→家庭学習→授業・・・と生徒たちが繰り返したくなるようなしつけや課題提示をしていく。
- 教育活動のあらゆる場面でカリキュラムマネジメント（自問活動）の充実を図り、生徒たちが自らの変容に気づく場面を設けていく。生徒たちが自らの変容に気づくことで自己肯定感・自己有用感の向上につなげていきたい。

【学校関係者評価委員会】（学校運営協議会委員4名、PTA2名、学校3名）

- ◇「自分にはよいところがある。」の項目が向上していることに先生方の頑張りを感じた。
- ◇先生方の頑張りや良さはよく伝わってくる、一方で先生方も無理することなく業務に励んでほしい。
- ◇部活動の地域展開が今後どうなっていくのか大変関心があるが、部活動での頑張りや学校で評価する場面が少なくなるのは少し残念な気もする。